

平成 20 年度予算編成にあたって

加西市では、バブル経済の崩壊以降、国の景気浮揚策を受けて建設事業を積極的に推進してきました。下水道建設の他、健康福祉会館（H 8 年、30.4 億円）、消防庁舎（H 10 年、14.8 億円）、玉丘史跡公園（H 12 年、23.8 億円）、市街地再開発事業（H 14 年、52.2 億円）、地域交流センター（H 15 年、17.2 億円）等です。

国の下水道整備 5 ヵ年計画や兵庫県の生活排水処理計画、平成 3 年にスタートした「生活排水 99% 大作戦」に基づき、公共下水道事業・農集・コミプラ事業（平成 18 年度末時点の総事業費 598 億円）を積極的に実施した結果、下水道普及率は 94% となりましたが、下水道事業に関わる市債残高は 304.4 億円に達しています。一般会計の市債残高は、平成 18 年度末で 193.8 億円（市民一人あたり 38 万円）となっていますので、市全体の市債残高は、平成 18 年度末 555.4 億円（市民一人あたり 110 万円）となっています。平成 16 年度以降下水道事業債の償還が本格化し、平成 25 年に下水道事業債の償還がピークを迎えるため、財政再建団体への転落が危惧されました。

そこで市は、平成 15 年度、向こう 10 年間の財政再建推

進計画を策定し、人件費の削減、事務経費の削減、投資的
事業の抑制、歳入の確保に目下取り組んでいます。国の三
位一体の改革に伴って、歳入面では地方交付税が毎年削減
され、歳出面においても下水道事業等への繰出金の増加や、
少子高齢化に対応するための扶助費の増加等が見込まれます。

平成 20 年度の予算編成で、各所属からの予算要求は、歳
入を約 20 億円上回る当初要求となりました。人件費・経常
経費の削減、事業の見直し、ハード事業の抑制を行い、約
7.7 億円の不足までに抑え、かつ歳出においては、市民サー
ビスに直接影響がでるものは除いて査定を行い、財源につ
いては、財政調整基金・減債基金の取崩しも行いましたが、
今後も多額の収支不足が見込まれる状況にあります。

平成 20 年度は財政再建推進計画の後期 5 ヵ年のスタート
の年です。引き続き職員のコスト意識の醸成を図り、常に
経費の削減に努め、限られた財源を有効に活用し、質の高
いサービスを低コストでタイムリーに提供できるよう、さら
に改革・改善への取り組みを強化していきます。

市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。
(市長)

教育委員会から市民の皆さまへ

教育関係の法律が改正されました

改正された教育基本法第 2 条には、「幅広い知識と教養を
身に付ける」「真理を求める態度を養う」「豊かな情操と道
徳心」「能力を伸ばす」「健やかな身体」「個人の価値の尊重」
「創造性を培う」「自主及び自立の精神」などの、教育目標
が示されています。

全国学力・学習状況調査が行われました

加西市内の小中学生の受験成績は概ね満足できるもので
した。教師や保護者の指導、地域住民の働きかけ、そして
素直で意欲ある児童生徒の前向きな日常生活によるところが
大きいと考えられます。

幼児教育は時代の要請です

幼稚園・保育所は、乳幼児期に多様な生活体験や集団体
験を経験させるものとして重視されています。市では、幼
児園を開設して、一貫した乳幼児教育・保育に取り組んで
います。

特別支援教育がスタートしました

障害のある幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを
把握し、生活や学習上の困難を改善・克服できるよう適切
な支援を行っています。平成 20 年度はスクールアシスタ
ントを市の単独予算で小中学校に配置します。

耐震診断が終わりました

昭和 56 年以前に建築された校舎・体育館・幼稚園舎につ
いて診断しました。今後、年次計画を立てて改修整備に当
たります。

生涯学習に力を入れています

市民が集い、活動し、交流する生涯学習。その学習の場が、

公民館、図書館、史跡公園、埋蔵文化財調査室、体育施設です。
生涯学習団体（文化、体育、社会活動団体）等の意見もお
聞きして、より良い学習環境を創造します。

公民館・図書館を訪ねてください

多くの市民が、公民館や図書館で学習し、それを踏み台
に社会参画することができるよう、新しい事業企画を進め
ています。

公募公民館長は、昨年 4 月就任以来、公民館の刷新に力
を發揮しています。図書館も、本の貸出に加えて、「読み聞
かせ」、図書館まつり、科学実験室、映画会など「動きのあ
る図書館」づくりを進めています。

社会体育はますます重要になります

生きがい対策、健康づくり、病気の予防などにスポーツ
は最適です。昨年から体育施設は、指定管理者制へ移行、
民間会社が管理運営に当たっています。

文化財の活用が求められています

税金を投入した一乗寺本堂改修工事が終わりました。文
化財を保護するだけでなく、市内に数多くある文化財をど
う活用するかがこれからの課題となります。

加西市史に学びましょう

市史は、私たち市民に、加西の過去から現代までを浮き
彫りにしてくれます。ご購入いただき、加西の歴史につ
いて理解を深めていただければ、と思います。

小中学校の未来像

少子化、施設の老朽化、財政難の時代、公教育の質向上
のためにも、他市の事例も参考にしながら統廃合も検討す
る必要があります。全国に誇れる、特色ある「加西の教育」
を一緒に考えたいと思っています。
(市長)

加西市公共交通総合連携計画 ってなあに？

市では、来年度「加西市公共交通総合連携計画」を策定する予定です。これは「主に高齢者の方が、車がなくても日常生活を送ることができる公共交通網の整備」に向けて、市の望ましい交通のあり方を明らかにし、それを実現するための効果的な方策を示すものです。

公共交通総合連携計画とは？

市の公共交通の活性化・再生を進める上で重要な「交通施策の整
備指針」となるものです。計画づくりにあたっては、各交通施策が
市民の皆さんの生活や経済活動を支え、市内外の交流を進めること
ができるよう留意しながら進めます。

どんな計画を目指していますか？

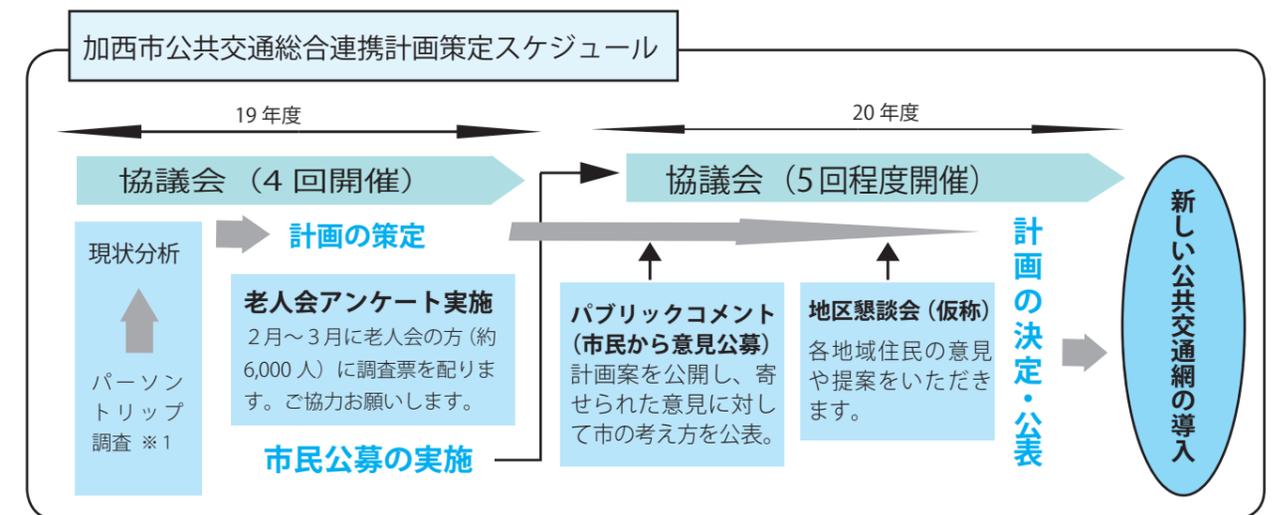
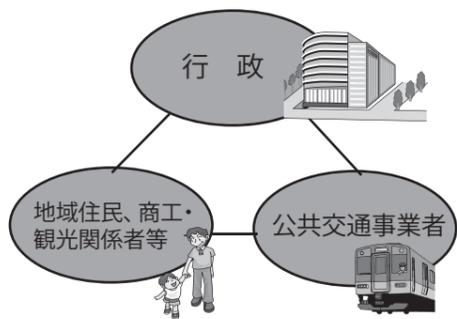
計画では、バス・鉄道など各公共交通機関の特性や、費用に対す
る効果の度合いなどを総合的に検討しながら、今後高齢化が進むこ
とを前提に、将来的には高齢者の方が車がなくても日常生活が送れ
るような交通施策づくりに努めます。

市民の声をどう反映していきますか？

計画をつくるさまざまな段階で、市民の皆さんの意見や提案を受
けながら計画策定を行います。

加西市公共交通活性化協議会

計画の策定にあたっては、市民と行政・
交通事業者の協働しながら進めていき
ます。



※1：1日の人（パーソン）の動き（トリップ）をどんな目
的でどんな交通手段で行動したかを調査するもの。

協議会メンバーを公募します

募集予定人員：2名
応募資格：市内にお住まいの方（満 20 歳以上）
任期：委嘱日（20 年 4 月予定）から 2 年間
内容：年 5 回程度開催する加西市公共交通活性化協
議会で意見を述べていただきます。（報酬なし）
応募期間：2/15（金）～ 3/17（月）
応募方法：応募用紙を経営戦略室まで持参または郵
送・Eメールで。
問合・応募先：経営戦略室 ☎④ 8700
E-mail keiei@city.kasai.hyogo.jp
応募資格の詳細や応募用紙等については市 WEB サ
イトをご覧ください。経営戦略室までお問合せを。

北条鉄道ボランティア駅長募集！！

北条鉄道が好きの方や興味のある方、駅長になっ
て鉄道の活性化に一役買ってみませんか？
資格：20 歳以上。北条鉄道が好きで興味のある方
募集人数：新規 30 名程度
任期：平成 20 年 4 月 1 日から 2 年間
応募期間：2/12（火）～ 3/14（金）
応募方法：北条町駅まで持参または郵送
応募書類：①応募様式②履歴書
選考方法：応募書類・面接により決定します。
問合・応募先：北条鉄道(株)北条町駅 ☎④ 0036
※詳細は加西市・北条鉄道(株)の WEB サイト参照